

# 清松の杜

第1号

平成30年3月21日発行  
発行：放生津八幡宮社務所  
発行責任者：責任役員会

## ニュース

### 築山・曳山行事の国指定文化財を目指す調査開始

平成28年度の3月市議会において、放生津八幡宮祭の築山・曳山行事について、国指定を目指して調査が始まることが正式に決まりました。富山県もこの事業を後押ししており、平成29年度から文化庁も加わった調査が始まりました。



築山・曳山保存会発足 4月10日



しめ縄 藁すぐり作業 6月3日



魚取社竹垣設置作業：奉仕会 6月27日



築山人形骨格作成：奉仕会 7月22日

## — 世界の平和は教育から —

放生津八幡宮の御神札初穂料の一部を、ユネスコ協会を通して、シリア難民の子どもたちへの教育支援に役立てております。（宮司談）





しめ縄寄り合わせ作業 8月17日



神輿グリスアップ作業 9月2日



築山須弥壇組み立て 9月18日

## 放生津八幡宮に関するQ&A

**Q** 放生津八幡宮はなぜ新湊の総社と呼ばれてきたのですか。

**A** 江戸時代、放生津は伏木の対岸の地方名でした。明治4年（1871）に小矢部川下流左岸の伏木と右岸の放生津が合併し金沢県新湊町が誕生しました。

その当時の放生津には六渡寺村、三ヶ新村、長徳寺村、三日曾根村、四日曾根村、荒屋村、法土寺村、旧放生津町、放生津新町が含まれていました。翌年八幡宮は放生津郷の郷社に指定され放生津（郷）全体の総氏神様として位置づけられました。ところが、明治19年（1886）に伏木が新湊町を離脱し高岡市に合併。新湊町は放生津郷だけになりました。このため、放生津郷の郷社である八幡宮は、新湊町の総社と呼ばれるようになりました。

### 【お知らせ1】 奉仕会会員募集

放生津八幡宮の境内清掃や、しめ縄作り等の伝統的作業の理解を通して奉仕活動を行います。

【連絡先】 放生津八幡宮社務所

電 話 0766-84-3449 F A X 0766-75-1254



## 不思議物語

70年以上前のことですが、私はかつて新湊で漁師をしていました。冬の海に漁にでましたが、急に嵐になり、船が何隻か転覆しました。冬の寒い海に投げ出され、荒れ狂う真っ暗な海でとにかく陸だと思われる方向へ泳ぎ始めました。

すると遠方に、金色に輝く観音様のような姿が現れました。私は金色に輝く方向を目指して必死に泳ぎました。私が意識を取り戻したのは、放生津八幡宮の裏の砂浜でした。今でも、放生津八幡宮の神様に助けられたと信じてお参りに来ています。 （高岡市五十里在住 男性の話）

## 秋季例大祭

9月30日の魂迎え式に始まり、10月1日の神輿御幸祭・曳山供奉、2日の例大祭並びに放生会式、築山祭、3日の奉賽祭に至るまで滞りなく祭典が執り行われました。

今年は、南長徳寺、古新町東部、古新町中部、古新町西部、中町、緑町、高場新町の児童・生徒により舞が奉納されました。素晴らしい舞に歓声が漏れていました。



魂迎え式 9月30日



神輿渡御 曳山供奉 10月1日



神輿渡御 当日早朝準備 10月1日



## 『緑の架け橋』 基金の案内

当宮の青松の杜は、古くから神霊の寄り憑く神聖な森として尊崇されており、魚寄せ松としても信仰されてきました。また、漁舟の船頭から航行の目印として尊重されてきました。

境内にある百本以上の松の中には、樹齢百五十年を超える古木もあり、保存管理のための費用が年々増大しています。青松の杜を次世代に繋げていくためには老松を保存し、若松を育成することが急務となっています。

つきましては、標記の基金に皆様方のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

一口：五百円以上

窓口：放生津八幡宮社務所（随時受け付けております）

### 緑の架け橋基金—お振込み方法—

銀行名 新湊信用金庫 本店

口座番号 0337979

口座名 (宗) 放生津八幡宮奉賛会

代表役員 大伴泰史



秋季例大祭 10月2日



機帆船太子講幟旗27年ぶりの復活

### 【お知らせ2】 平成30年8月25日家持卿生誕1300年祭奉祝行事募集

当宮創建の祖・家持卿の生誕1300年を奉祝する奉納行事を募集します。朗唱、演奏、演舞など文学から芸術まで様式を問いません。

詳細は当宮までお問合せください。〔締め切り5月末まで〕

放生津八幡宮公式HP：[houjyoudu.com](http://houjyoudu.com)

放生津八幡宮

検索

【注記】本誌は、八幡宮の様子を知りたいという住民の皆様の要望に応じて発行することになりました。本誌は、責任役員の氏子幣帛料を製作費に充てています。